

フィデューシャリー・デューティーの具体的取組事項にかかる 2021 年度取組実績

取組方針および具体的取組事項	2021 年度通期取組実績
方針 1 : 「お客さまの最善の利益の追求」	
<p>○企業と投資家の間に長期の信頼関係を構築するための施策を講じます。</p>	<p>➤ 方針 3 に記載の投資家等とのコミュニケーションによる長期の信頼関係構築を継続。 ➤ 企業とのエンゲージメント面談や 1 on 1 ミーティングを 96 先と実施 (国内 44 先、海外 52 先)。</p>
<p>○企業価値の徹底した分析に基づく評価とその創造への提言の能力を備えた人財の育成のための施策を講じます。</p>	<p>➤ 昨年同様、教育機関により提供されるプログラムを若手職員に受講させ、企業価値評価、投資戦略等のスキル、ノウハウ蓄積に努めた。 ・ Aurea Lotus 社主催の『フランチャイズバリュー創造企業に投資する為の基礎講座』(バリュー投資の基礎理論および企業分析事例の講義)に、本年度に着任した若手職員 1 名が参加 (5 月、8 月、11 月)。</p>
方針 2 「利益相反の適切な管理」	
<p>○利益相反管理の有効性・適切性の検証の中で、当社の業務特性を踏まえた利益相反回避のための適切な方法を採用いたします。</p>	<p>➤ 利益相反管理方針に基づく管理を継続し、親会社等の役員を兼務する取締役、および親会社からの出向者に対し、不当な影響力行使や情報の守秘についての誓約書を受領。また、所属する役職員全員から内部者取引等防止に関する確約書を受領。 ○利益相反にかかる誓約書受領 親会社から当社に着任した出向者 2 名 ○内部者取引防止確約書受領 新規で当社に着任した役職員 6 名から受領 ➤ その他、弊害防止措置にかかる社内研修を実施 ○弊害防止措置 (2022 年 3 月)</p>

取組方針および具体的取組事項	2021 年度通期取組実績
----------------	---------------

方針3 「報酬へのご理解」	
----------------------	--

<p>○お客さまに定期的を実施する運用報告のほか、年次総会などの機会を通じて、当社の活動の内容をお客さまにご理解いただくための活動を実施いたします。</p>	<p>➤ 個人投資家向けの年次総会を 4/24 日に実施。参加者は約 150 名（リアル会場参加：30 名、オンライン参加約 120 名）。</p> <p>当日は 2 部構成とし、第 1 部では年次運用報告、第 2 部では投資先企業のラショナル社に投資家とともに訪問、当社製品のスチームコンベクションオープンによるクッキングライブを体験。投資家からのアンケートでは、「運用者の顔が見え、リサーチに対する準備にプロ意識を感じた」、「クッキングライブを見て企業の力が良くわかった」など高い評価を得た。</p> <p>➤ 昨年度から開始したオンラインによる月次報告会を以下のとおり継続実施。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">おおぶねメンバーズカンファレンス実績</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計 11 回実施（5/26, 6/30, 7/28, 8/24, 9/27, 10/25, 11/25, 12/27, 1/28, 2/28, 3/28）</td> </tr> </table>	おおぶねメンバーズカンファレンス実績		合計 11 回実施（5/26, 6/30, 7/28, 8/24, 9/27, 10/25, 11/25, 12/27, 1/28, 2/28, 3/28）	
おおぶねメンバーズカンファレンス実績					
合計 11 回実施（5/26, 6/30, 7/28, 8/24, 9/27, 10/25, 11/25, 12/27, 1/28, 2/28, 3/28）					

方針4 「分かりやすい情報提供とお客さまにふさわしいサービスの提供」	
---	--

<p>○インベストメントチェーンの一員として運用会社様および販売会社様と連携し、各種メディアも通じて広く長期厳選投資の意義を伝えるための活動を実施いたします。</p>	<p>➤ 長期厳選投資の意義を伝えるため、主として以下の活動を実施。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">活動実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売会社</td> <td>合計 8 回（岡三証券（6 回）、楽天証券（2 回））</td> </tr> <tr> <td>学生向け講義</td> <td>合計 7 回（ゼロ高（5）、東京大学、立正高校）</td> </tr> <tr> <td>メディア出演</td> <td>合計 19 回（INVESTORS（5 回）、テレ東 BIZ（2 回）、お金の学び場（2 回）モーニングサテライト、投信協会、NHK、テレビ朝日、UPDATE など）</td> </tr> <tr> <td>雑誌等掲載</td> <td>合計 14 回（ダイヤモンドオンライン、楽天トウシル、日経電子版、ch FILES、日経ビジネスオンライン、SBI、婦人画報、日経新聞 など）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>合計 36 回（JA 等向け（26 回）、高島屋外商（2）、高校教師向け（2）フィナンシャルアカデミー など）</td> </tr> </tbody> </table> <p>➤ 2022 年 4 月から高等教育の学習指導要領において、家庭科の授業に「資産形成」が加わることを踏まえ、金融教育授業資材を開発、全国の高校を対象に無償提供を開始。</p>	活動実績		販売会社	合計 8 回（岡三証券（6 回）、楽天証券（2 回））	学生向け講義	合計 7 回（ゼロ高（5）、東京大学、立正高校）	メディア出演	合計 19 回（INVESTORS（5 回）、テレ東 BIZ（2 回）、お金の学び場（2 回）モーニングサテライト、投信協会、NHK、テレビ朝日、UPDATE など）	雑誌等掲載	合計 14 回（ダイヤモンドオンライン、楽天トウシル、日経電子版、ch FILES、日経ビジネスオンライン、SBI、婦人画報、日経新聞 など）	その他	合計 36 回（JA 等向け（26 回）、高島屋外商（2）、高校教師向け（2）フィナンシャルアカデミー など）
活動実績													
販売会社	合計 8 回（岡三証券（6 回）、楽天証券（2 回））												
学生向け講義	合計 7 回（ゼロ高（5）、東京大学、立正高校）												
メディア出演	合計 19 回（INVESTORS（5 回）、テレ東 BIZ（2 回）、お金の学び場（2 回）モーニングサテライト、投信協会、NHK、テレビ朝日、UPDATE など）												
雑誌等掲載	合計 14 回（ダイヤモンドオンライン、楽天トウシル、日経電子版、ch FILES、日経ビジネスオンライン、SBI、婦人画報、日経新聞 など）												
その他	合計 36 回（JA 等向け（26 回）、高島屋外商（2）、高校教師向け（2）フィナンシャルアカデミー など）												

取組方針および具体的取組事項	2021年度通期取組実績
<p>○当社が組成する金融商品の特性を踏まえ、ご購入いただく対象として想定するお客さまの属性を特定・公表いたします。</p>	<p>➤ 加入する協会の実務検討状況、他社事例を収集・確認のうえ、公募2ファンドの対象とするお客さま属性を特定し、10/4にホームページにて公表。</p>
<p>方針5 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み」</p>	
<p>○教育・研修等を通じ、すべての役職員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有するとともに、業績評価体系にお客さまのニーズ・利益に真に適う取組みに焦点を当てた評価項目を設けます。</p>	<p>➤ 四半期初の全体会議、新規着任者配属初日等において、当社の設立趣旨である「価値に基づく資本配分を通じた経世済民の実現」むけた3つのステークホルダーに対する価値実現の目標について、改めて全職員で共有。</p> <p>➤ 上記ステークホルダーに対する価値実現を目指すべく、主体的かつ相乗的に価値認識・実現できる職員をコンピテンシーとして評価するなど、プロパー職員の人事評価制度を大幅に改定。</p>
<p>○お客さまの信認に応えることを最優先事項として掲げ、役職員個人としての投資助言残高等の追求は業務上の目標として設定はいたしません。</p>	<p>➤ お客さま本位の取組を最優先事項とし、投資残高等に基づく個人のインセンティブ目標は設定していないことを目標設定時に確認。</p>